

君津PAスマートインターチェンジ フォローアップについて

令和5年12月

今回の地区協議会の目的

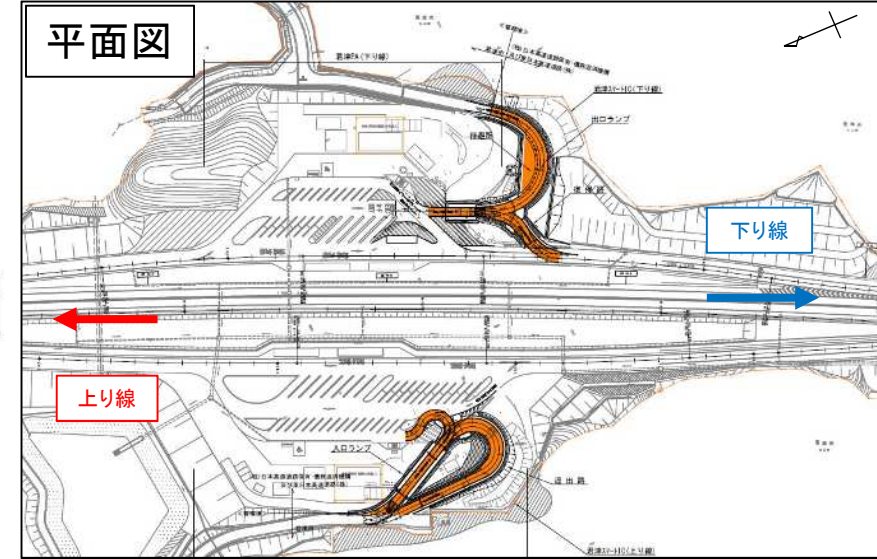
「スマートインターチェンジ整備事業制度実施要綱」に基づき、本スマートICにおけるフォローアップを行うもの。

スマートIC整備事業制度実施要綱 <抜粋>

2. 地区協議会の設置

(5)地区協議会は、スマートICの供用後も継続して、その社会便益・安全性・利用交通量・管理・運営形態・利用促進方策等について、定期的にフォローアップし、必要に応じ見直すものとする。フォローアップは、供用後1年経過後速やかに1回実施し、以後必要に応じて実施するものとする。なお、従来の制度によるスマートICについても同様とする。

君津PAスマートインターチェンジの概要



- 連結許可・開通年月 : 平成21年3月
- 開放時間帯 : 6時から22時まで(16時間)
- 通行可能車種 : ETC車載器搭載の二輪車、軽自動車、普通車
(通行可能対象車長L=6.0m以内)
- 利用形態 : 一旦停止型、ハーフインター
館山方面に向かう下り線にOFFランプ
千葉方面に向かう上り線にONランプ

現況航空写真(上り線側)



現況航空写真(下り線側)

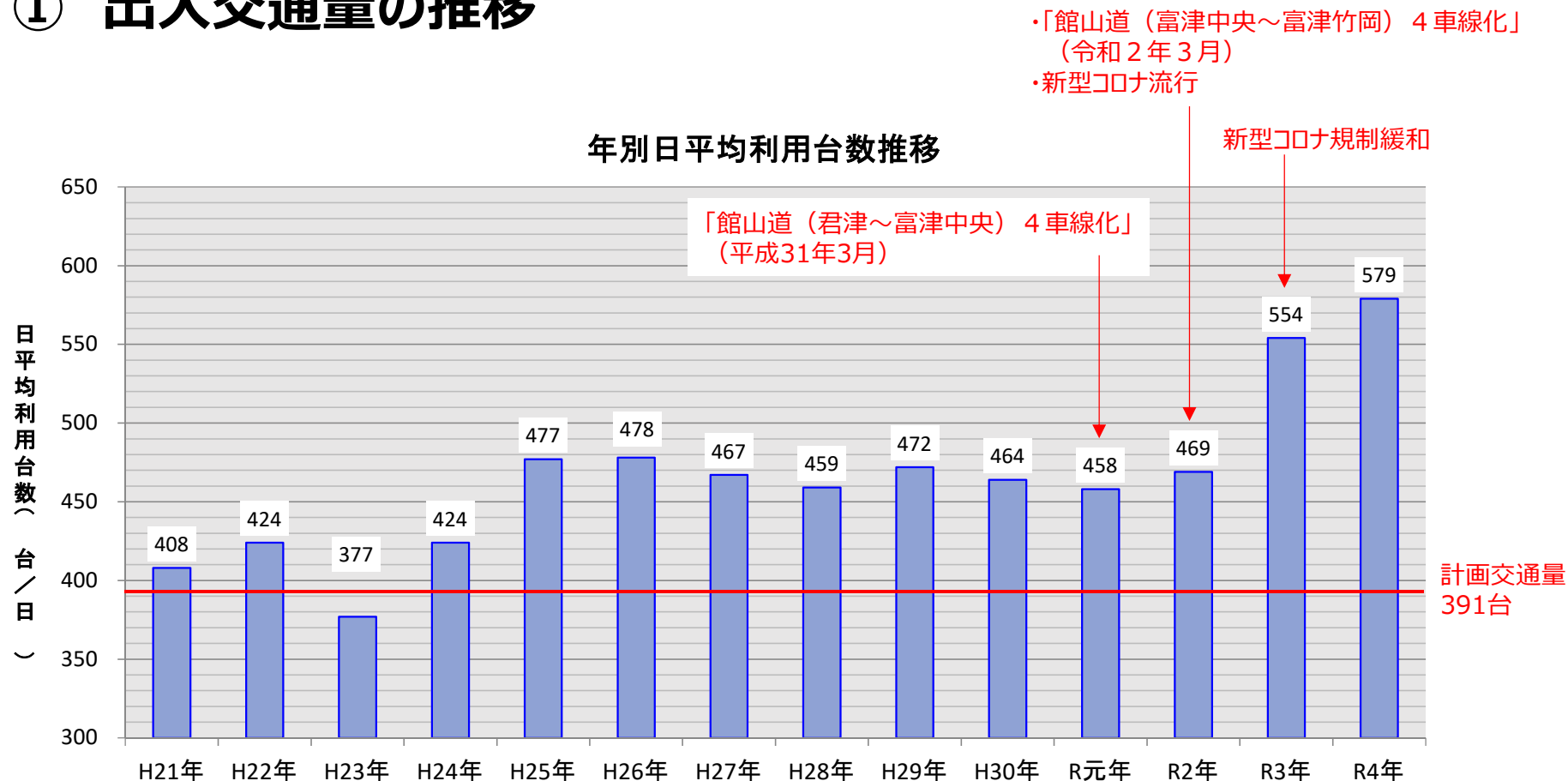


フォローアップの内容

- 1) 利用状況について
- 2) 整備効果について
- 3) 利用促進方策について
- 4) 安全性、管理、運営形態
- 5) 今後の予定について

利用状況について

① 出入交通量の推移



→新型コロナ流行前後においても、出入交通量が計画交通量を上回っている。
令和3年以降は館山道が4車線化したことに加え、新型コロナの行動規制の緩和によって交通量が増加したと思われる。

出典：NEXCO東日本データ

利用状況について

② 前後ICの出入交通量



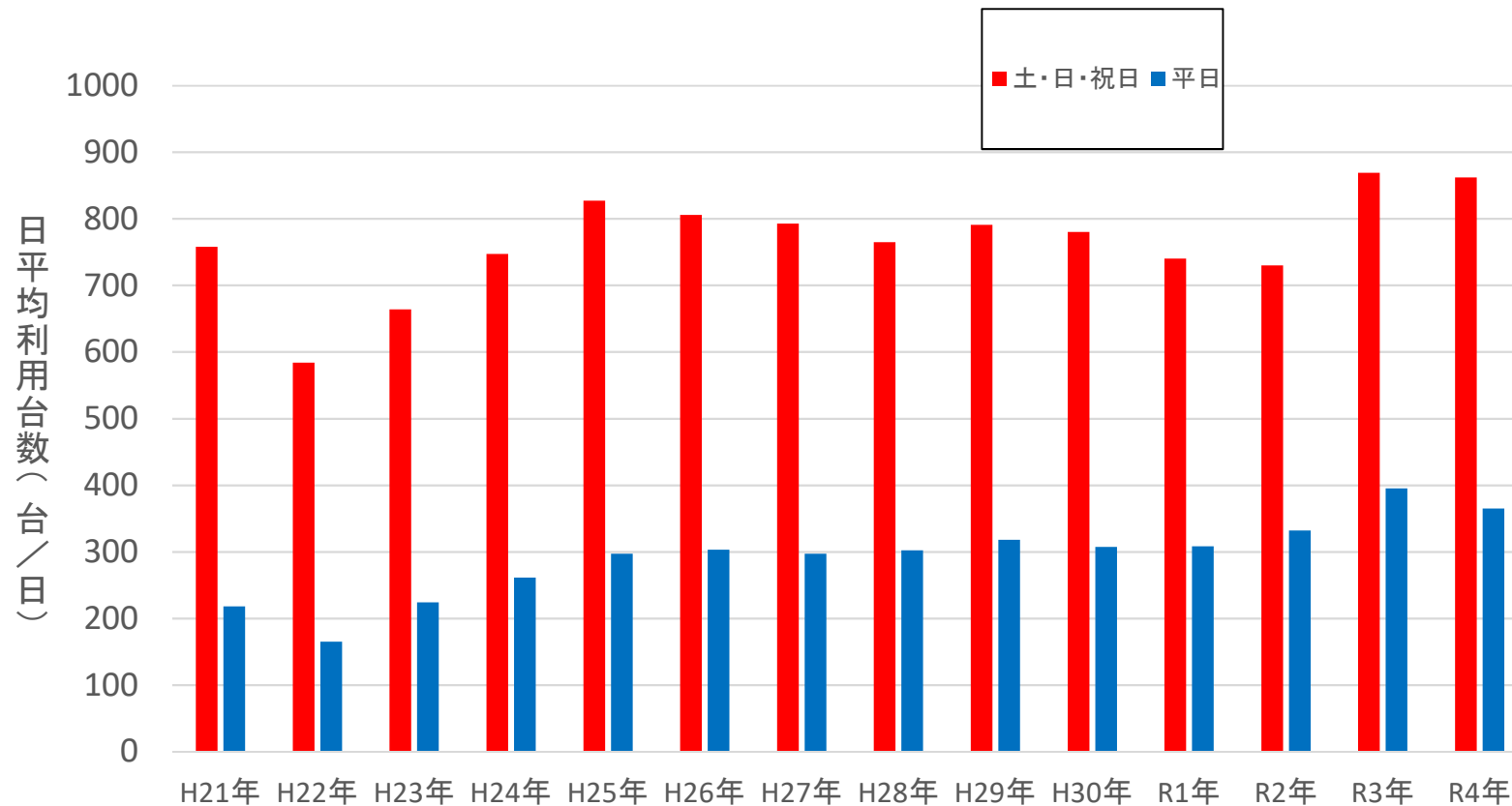
	君津IC	君津PASIC	富津中央IC	合計
整備前 (H20年)	8,182台/日	—	2,650台/日	10,832台/日
整備後 (R4年)	7,917台/日	579台/日	3,134台/日	11,630台/日
増減	▲265台/日	579台/日	484台/日	798台/日

出典：NEXCO東日本データ

→R4年において、前後ICを含めた出入交通量の合計は、開通前のH20年よりも増加している。

利用状況について

③ 平休別・出入交通量

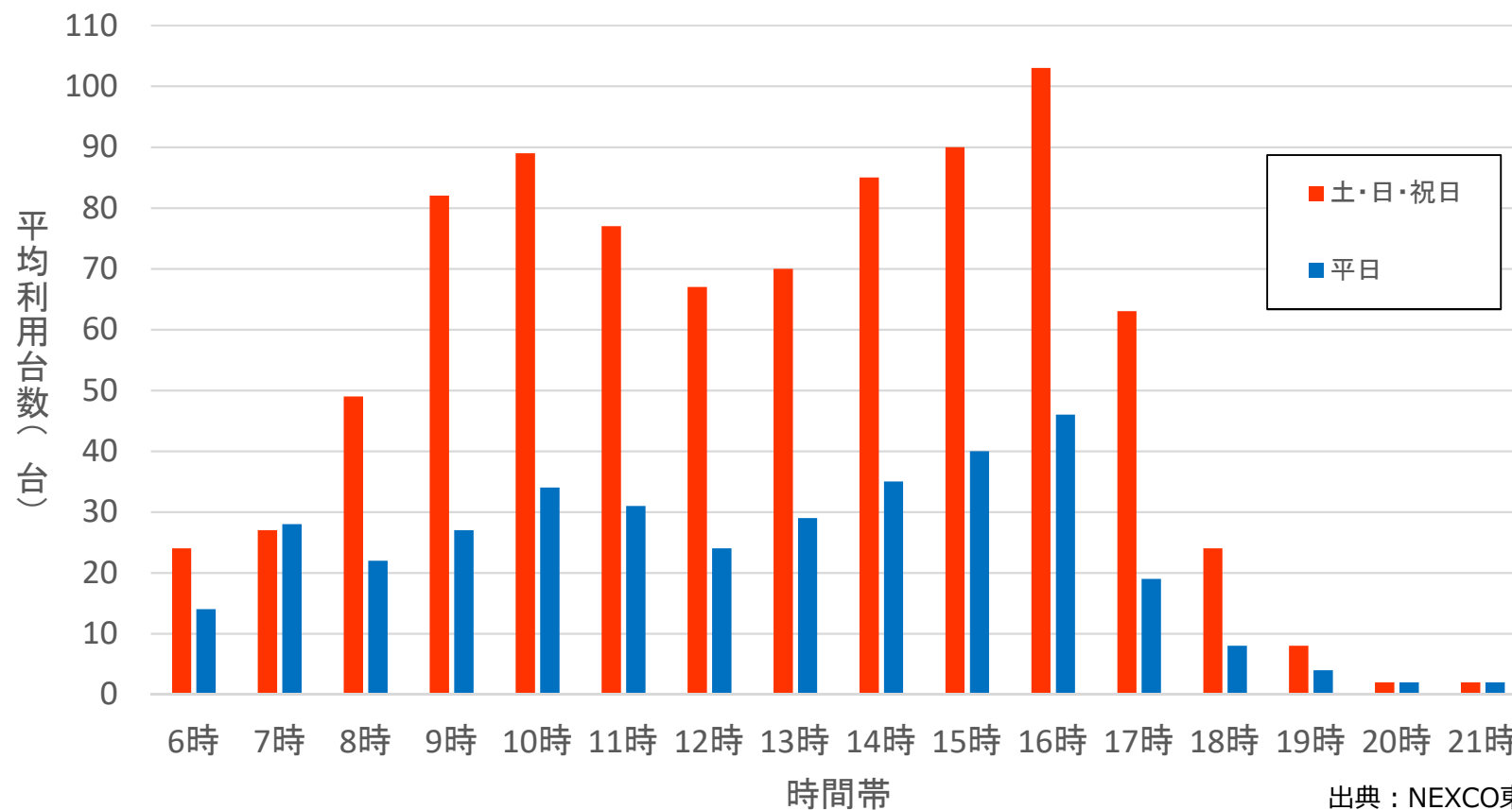


出典：NEXCO東日本データ

→出入交通量は総じて平日よりも休日の方が多く、観光やレジャーでの利用が多いと考えられる。

利用状況について

④ 平休別・時間帯別出入交通量



出典：NEXCO東日本データ
(R4年平均)

→休日平日とも16時の交通量が最も多く、また、7時においては休日よりも平日の交通量の方が多いという結果であったことから、平日は主に通勤の目的で利用されていると考えられる。

利用状況について

⑤ 方面別利用状況



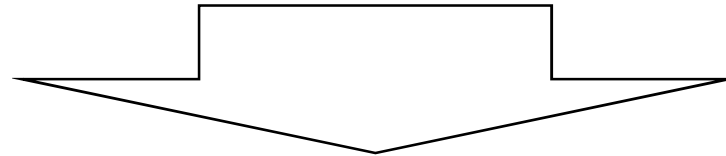
出典：
・NEXCO東日本データ
(R4年平均)
・E-NEXCO DrivePlaza

→主にアクアライン方面と蘇我方面からの観光利用が多いと考えられる。

利用状況について

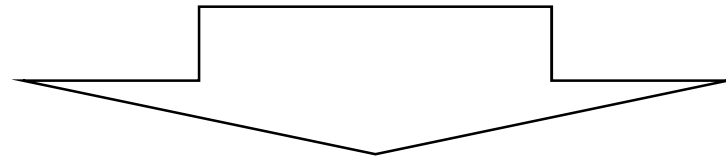
■まとめ

- ・当初見込んでいた計画交通量を上回っている。
- ・前後ICを含めた出入交通量の合計は、増加している。



■分析結果

- ・休日の普通自動車の利用が多い。
- ・日中(9時～16時)の時間帯の利用が多い。



■今後の対応方針

- ・ 今後も君津市HPにSIC案内を掲載するなどの利用促進策を実施する。

整備効果について

■ 実施計画書に記載した社会便益

- ① 目的地までの移動時間短縮
- ② 観光振興による地域の活性化
- ③ IC周辺の混雑緩和による日常交通の円滑化

整備効果について

■ 整備効果の検証について

君津PAスマートICの設置による社会便益（整備効果）について、今回のフォローアップで検証する項目と次回に検証する項目を整理する。

社会便益 (整備効果・内容)	具体的な指標	使用データ	整備効果の検証時期	
			今回	次回
目的地までの移動時間短縮	君津PA及び君津PAスマートICから観光施設への各所要時間	実走行に基づく所要時間	R4.12	— ※1
観光振興による地域の活性化	マザー牧場来場者数及び普通車駐車台数	マザー牧場提供データ	R5.3	R6.3
	鹿野山ゴルフ倶楽部来場者数等	鹿野山ゴルフ倶楽部提供データ	—	— ※2
IC周辺の混雑緩和による日常交通の円滑化	・混雑度、旅行速度	令和3年度全国道路・街路交通情勢調査（国土交通省）	R5.10 ※3	— ※4

※1：周辺の交通状況の変化があった場合検証予定

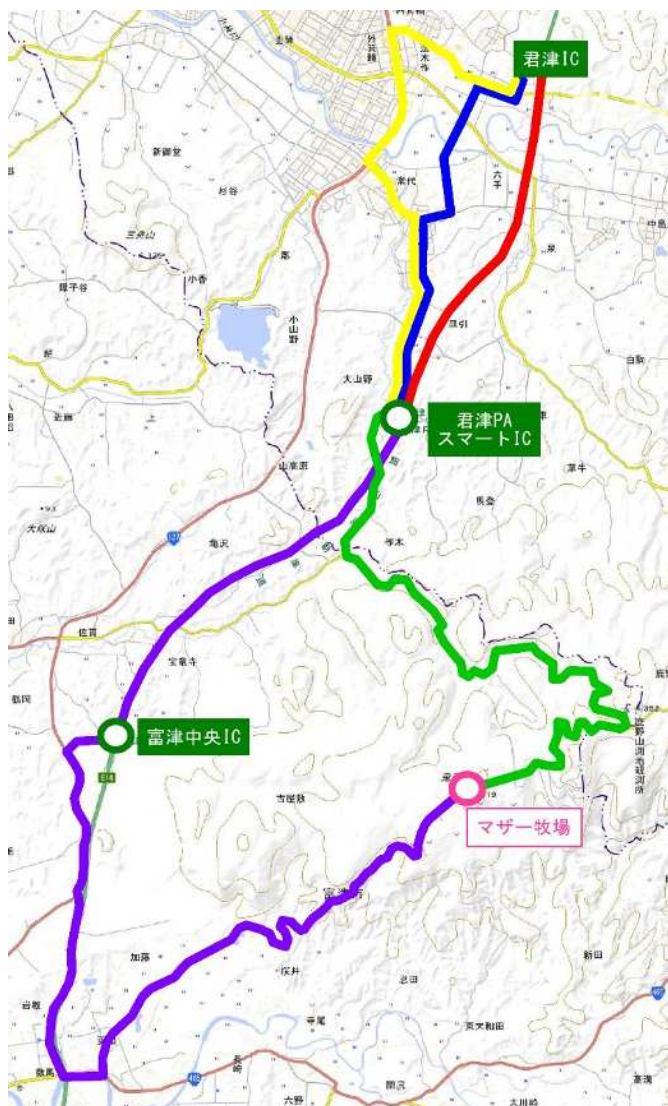
※2：鹿野山ゴルフ倶楽部からのデータ提供が可能な場合、検証予定。

※3：令和3年度のデータを使用し、令和5年10月に検証。

※4：全国道路・街路交通情勢調査の最新のデータが公表され次第、検証予定。

整備効果について

① 目的地までの移動時間短縮



君津ICからマザー牧場への所要時間については、君津PAスマートICを利用することで、約4分の短縮が可能。

ルート	所要時間
赤+緑	君津IC～君津SIC経由～マザー牧場 19分
青+緑	君津IC～八重原線経由～マザー牧場 (令和4年4月開通) 23分
赤+紫	君津IC～富津中央IC経由～マザー牧場 24分
黄+緑	君津IC～国道127号線経由～マザー牧場 27分

調査概要

調査日 : 令和4年12月18日 (日)

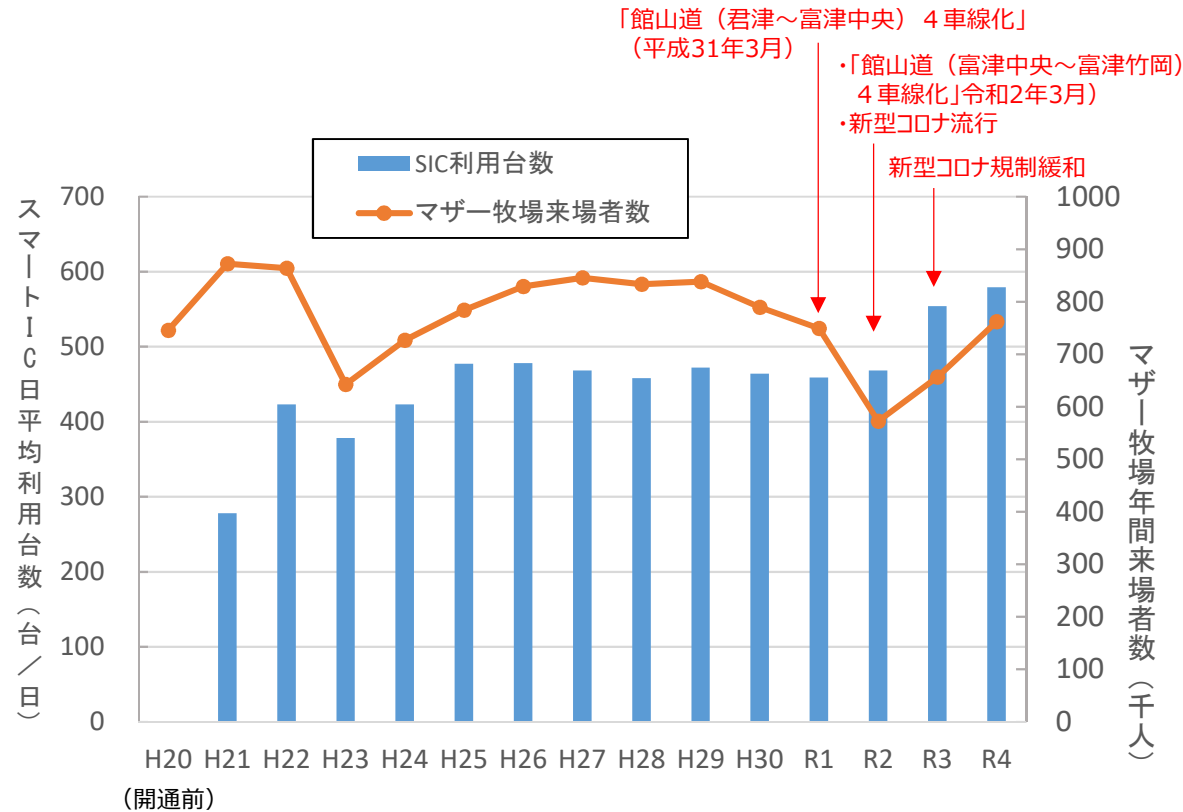
調査時間 : 午前9時から午前11時

調査方法 : 実走行による調査

整備効果について

② 観光振興による地域の活性化

- ・君津PAスマートICは前後区間が4車線化したことに伴い、渋滞が緩和されマザー牧場へアクセス性が向上。
- ・令和3年からはマザー牧場来場者、君津PAスマートIC共に利用台数が前年と比較して増加傾向である。



整備効果について

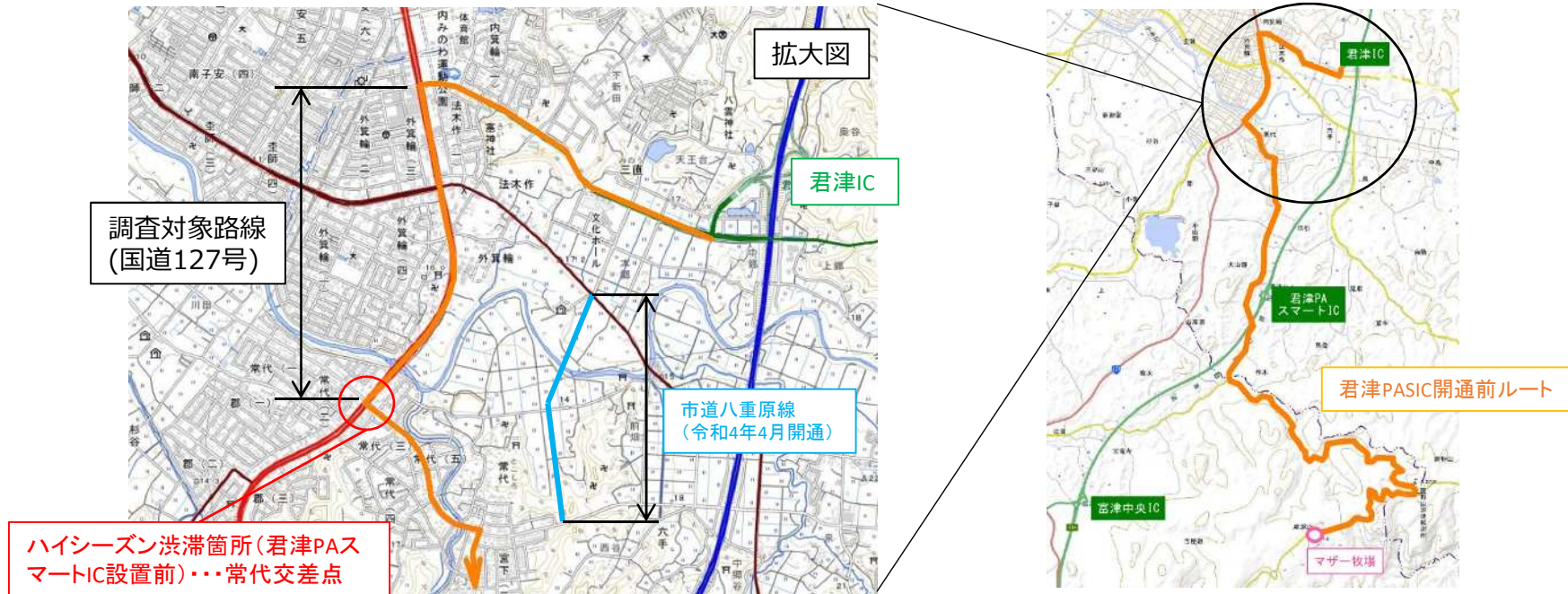
③ IC周辺の混雑緩和による日常交通の円滑化

全国道路・街路交通情勢調査の混雑度及び旅行速度について比較すると、君津PAスマートICが設置される前のH17年と比べ、一般国道127号の混雑が緩和されていることが確認できる。

路線名	混雑度			旅行速度 (km/h)			24時間自動車交通量 (台)		
	H17	H22	R3	H17	H22	R3	H17	H22	R3
一般国道127号	0.80	0.58	0.58	20.8	33.1	37.3	27,783	14,271	19,767

$$\text{混雑度} = \frac{\text{交通量 (台/12h)}}{\text{交通容量 (台/12h)}}$$

※H17年度の交通量は平日及び休日の24時間交通量の平均台数



利用促進方策について

■現在の取り組み状況

- ・ 君津市HPで周辺観光施設をPRし君津PAスマートICの利用促進
- ・ 周辺観光施設HPの交通アクセスにおいて君津PAスマートICをPR
- ・ 君津PAスマートIC周辺の案内標識の点検実施



君津HP掲載状況



案内標識点検実施状況



鹿野山ゴルフクラブ交通アクセス



千葉・東京・神奈川方面からはETC専用「君津PAスマートIC」が便利です！

君津PA Kimitsu

ETC専用出口 6:00～22:00

カーナビ入力時のご注意
経路に反映されない場合は、下記を検索！または、高速出口に設定！

君津PA下り または 君津PAスマートIC下り出口

※カーナビの設定をスマートIC専用とするとは限りません。 ※カーナビのデータによっては「君津PA」が表示されない場合があります。 ※「君津PAスマートIC」は、ETC専用出口を併設した二輪車・軽自動車専用（車線6車線以下）が利用できます。 ※利用時間は、6:00～22:00です。

マザー牧場交通アクセス

出典：鹿野山ゴルフクラブHP、マザー牧場来場HP

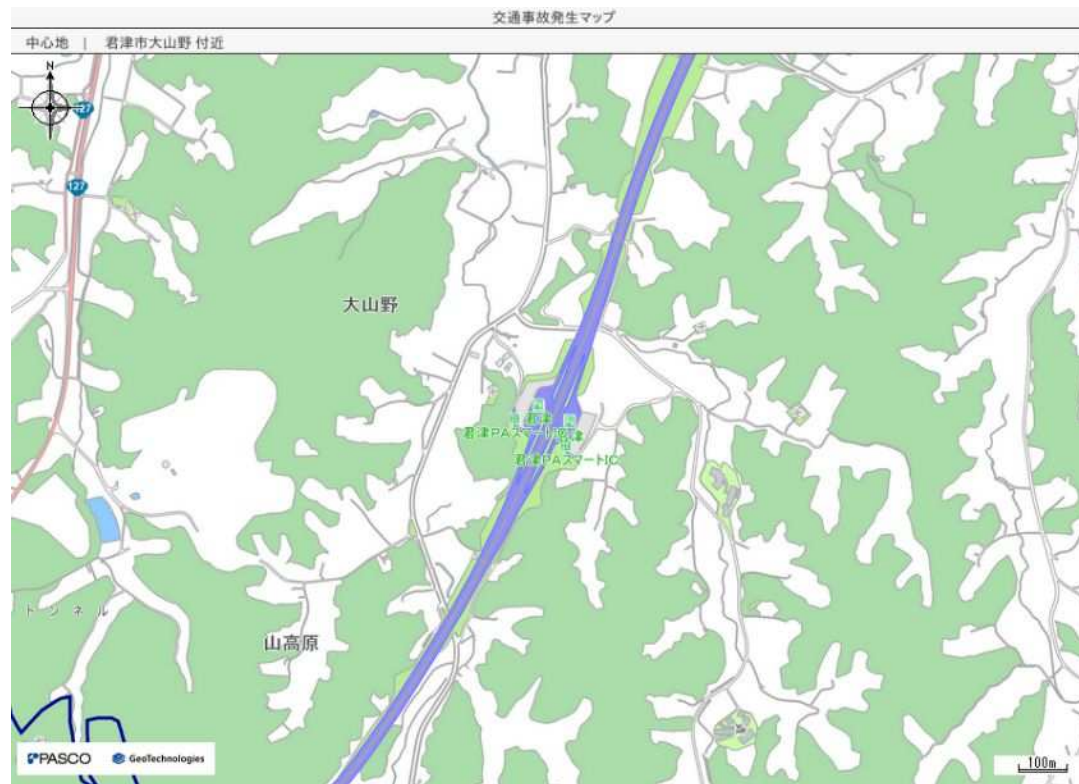
■今後の取り組み

- ・ 引き続き、君津市及び周辺観光施設HPにSIC案内を掲載するなどの利用促進策を実施

安全性、管理・運営形態について

①安全性

- ・ 君津PAスマートIC周辺道路において、令和4年は交通事故が発生していない。
- ・ 一般の利用者から君津市役所、NEXCO東日本宛に周辺の案内標識に関する問い合わせや意見等は来ていない。



出典：千葉県警察くらしの安全マップ

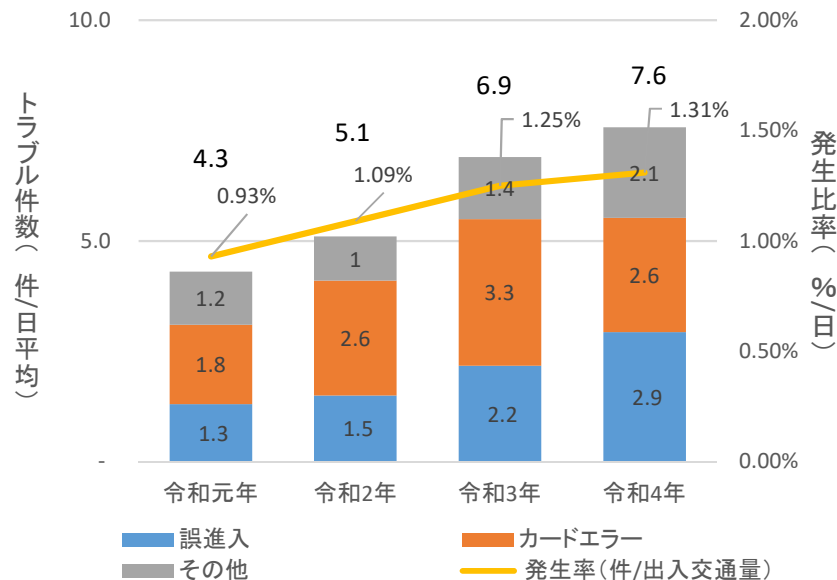
安全性、管理・運営形態について

②管理・運営形態

IC名	方向	時間	対象車種	監視体制
君津PAスマートIC	東京方向ハーフインター	6時～22時（16時間）	軽自動車等・普通車のみ（全長6m以下）	遠隔監視

- ・平成21年3月 開通
- ・令和3年10月 君津ICからの遠隔監視を開始

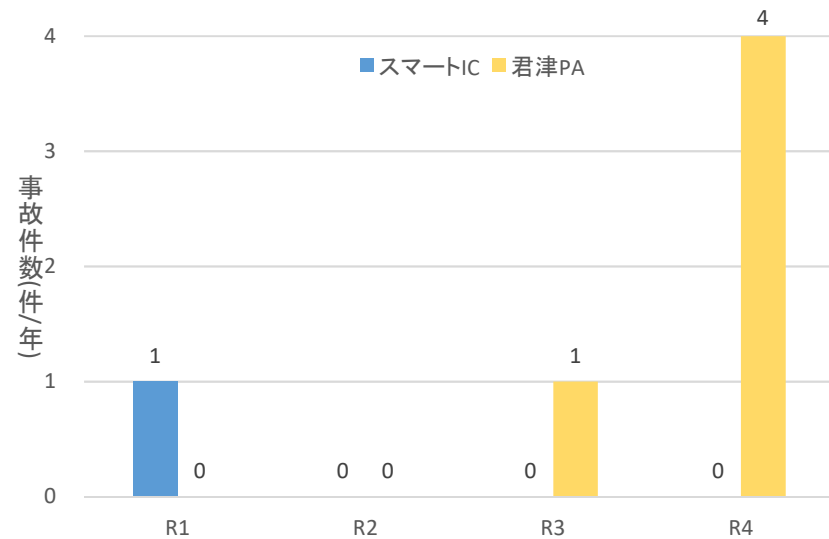
○トラブル件数推移



・新型コロナ流行時においても令和元年以降の利用台数は年々増加し、これに比例してトラブル件数も増加傾向にあるが、管理・運営における問題は発生していない。

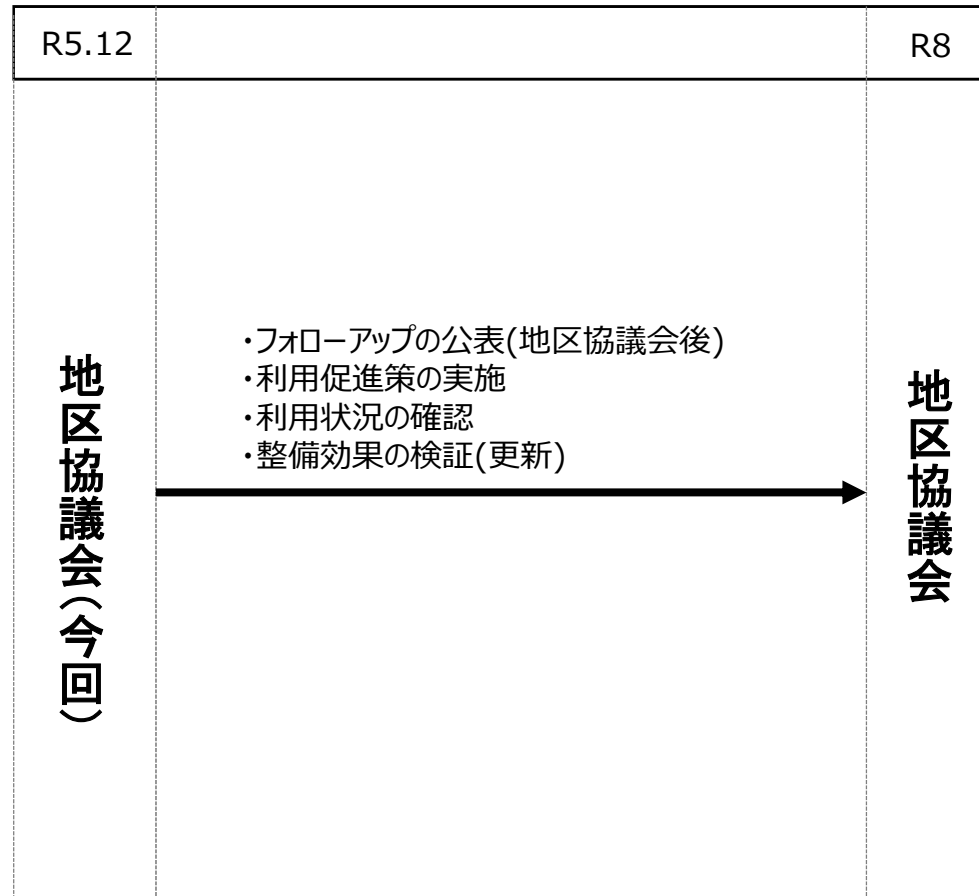
※トラブル件数は6時から22時までに発生した件数

○SIC・接続PA内での事故件数



・SICにおける事故は直近4年間で1件のみであり、増加傾向はみられないため引き続き動向を注視する。

今後の予定について



※毎年、国・県・高速道路会社・市の四者で、年に1回程度スマートICの状況確認を実施し、必要があれば地区協議会にて報告する。